

Vol. 156 2017.6.8

理事長トーク Top Interview

中国人看護師が入職しました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川節男



健育会グループでは、私が経済同友会の医療改革委員長を務めていた2004年にとりまとめた「医療先進国ニッポンを目指して」の中で、将来の日本の医療従事者不足に対応するため、海外からの人材受け入れの必要性を明記したことを契機に、アジアからの看護師候補・介護士候補の受け入れに積極的に取り組んでいます。



経済同友会 医療改革委員会
委員長時のパンフレット
(2004年4月)

まずEPA制度の開始に先駆けて、2007年からフィリピンから介護士資格を有する留学生の受け入れを独自に開始し、さらにEPA制度が始まってからは積極的に海外からの人材を受け入れを実施しており、2017年4月現在では健育会グループ全体でEPA制度により、フィリピンとインドネシアからの看護師候補、介護福祉士候補13名を受け入れています。



また2014年からは、中国人看護師プロジェクトもスタートしました。2014年秋に中国 承德看護職業学院で日本で看護師として働きたいという希望者に対して初めて健育会グループの法人説明会、採用面接会を実施したのが始まりです。その時に採用した中国で既に看護師資格を持った方は、来日後、2年間をかけて日本語の勉強をしました。また同時期に日本で看護師として働くことを目的に来日し、日本語学校で勉強していた中国人の方の採用も行いました。



看護師国家試験を受験するにあたって、日本語の能力については日本語能力試験の中で一番高いレベルであるN1の取得が必須条件となっており、これはEPA制度には設けられていない条件です。実は、このN1に合格できずに在留資格の延長の見込みが立たず、健育会のプロジェクトから降りたメンバーも3名いたほど、なかなか厳しい条件となりました。

日本語能力試験 認定の目安

N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる
N4	基本的な日本語を理解することができる
N5	基本的な日本語をある程度理解することができる

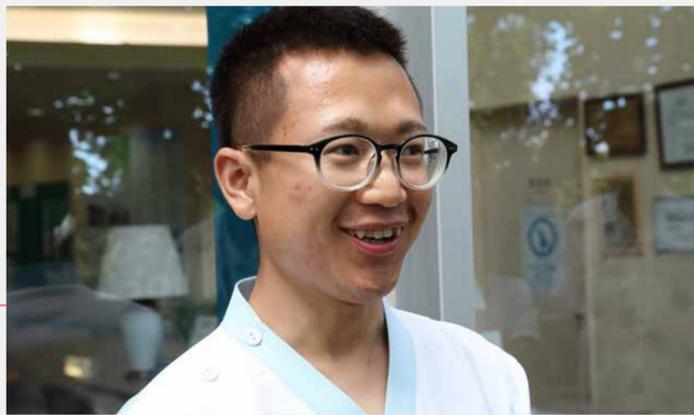
そしてこのように難しい日本語能力試験N1に合格し、2017年2月の看護師国家試験（第106回）に無事合格した7名がこのプロジェクトの1期生として2017年4月から健育会グループの熱川温泉病院と西伊豆健育会病院で働き始めています。



熱川温泉病院

賀 雲龍 さん

カ ウンリュウ



私は外国人なので、日本語の勉強も看護師国家試験の勉強も大変でした。しかし、勉強させていただき、試験に合格できたという幸せもありました。合格した時は、とても嬉しかったです。みんなで乗り越えることができました。

熱川温泉病院はとても環境が良い病院です。この病院で働けることは人生の幸せだと感じています。色々と勉強することがたくさんありますが、立派な看護師になることが私の夢です。日々努力して、早く一日の流れや各患者さんの情報などをしっかり把握できるようになりたいです。できれば、ずっと熱川温泉病院で働いていきたいと考えています。

董 春雲 さん

トウ シュンウン



試験は大変でしたが、それを乗り越えて国家試験に合格できて、今、仕事できるようになっているので、とてもやりがいがあったと思っています。

熱川温泉病院は、風景も良いし、人もとても優しいです。入職してすぐは、生活や仕事も大変でしたが、皆さんが色々手伝って下さるので、今では慣れてきました。温泉にも入り、リラックスしています。

看護師は一生勉強が必要だと聞きました。患者さんたちの気づきにくいところもよく観察できる、プロの看護師になりたいです。

陳 燕 さん

チン エン



日本の看護師国家試験は難しかったです。やっと試験に合格して、日本の看護師になるという一つの夢を叶えることができました。人生の良い経験となりました。

中国で数ヶ月間、学習生として病院で働いた経験があります。そこでの経験と日本の看護師の仕事は違っていました。でも、その違いを乗り越えて1からやり直すことが必要だと感じました。師長さんや部長さんが色々と助けてくださり、今は熱川温泉病院のペースに慣れることができ、とても感謝しています。患者さんも笑顔で、とても温かいと感じています。今、目の前の目標は、病院の業務に早く慣れることです。皆さんに少なくとも迷惑をかけないような看護師に、早くなりたいたいと考えています。

林 婕婷 さん

リン ショウテイ



私は今年、正看護師には合格できませんでしたが、准看護師に合格しました。来年も看護師国家試験に挑戦します。頑張りたいと思います。中国の病院と日本の病院はたくさんの違いがあると感じています。私は、外国人として日本の病院で働いているので不安なことはたくさんあります。例えば、言葉の面では、カンファレンスなどの時にしっかりとメモを取りたくても聞き取れないことがあったり、慣れない方言などに戸惑ったりすることがあります。しかし、スタッフの皆さんが優しくサポートして下さるので、安心することが出来ました。特に部長さんや主任さんが私の健康についてまでも心配して下さるので、心が温かくなります。患者さんに信頼されるような看護師になりたいです。その夢のために頑張りたいと思います。

西伊豆健育会病院

王 嬌艶 さん

オウ キョウエン



最初は日本語の勉強が難しかったです。でも、日本語が少しわかるようになってくると、看護師国家試験の勉強も楽になりました。日本の看護師国家試験に合格した時、両親に連絡したら涙を流すくらいとても喜んでくれました。

病院では、勉強会が行われています。最近ではBLS（Basic Life Support：一次救命処置）やトリアージの勉強など、私たちにとってとても役に立っています。先輩たちのような看護師になるのが夢です。患者さんとコミュニケーションをうまく取れるようになりたいし、技術も早く身につけていきたいと思います。

崔 京蘭 さん

サイ キョウラン



日本語の勉強は難しかったのですが、学ぶうちにだんだんとわかるようになってきました。日本語の理解が進むと、看護師国家試験の勉強もわかるようになってきました。看護師国家試験に合格した時は、嬉しくて言葉になりませんでした。

西伊豆での暮らしは順調です。困ったことがあっても、周りの皆さんがフォローして下さいます。日本は先進国で、医療技術も優れていると思います。病院では勉強会も盛んで、毎回とても勉強になっています。先輩たちのように責任を持った看護師になりたいです。技術も身につけて、早く一人前の看護師になりたいと思います。初心を貫いて、長く働いていきたいと考えています。

朱 雪珍 さん

シュ セツチン



看護師国家試験に合格した時は、感激でうれしかったです。

西伊豆健育会病院は景色がすごく綺麗で、海も見えます。病院の先輩たちがとても優しくして下さいるので、毎日緊張しながらも頑張ることができています。

この前、急変の患者さんがいらっしゃって、私も救急の現場を見学しました。患者さんに対応する先輩たちが、私の目から見てすごく格好良く見えました。私もそのような格好いい看護師になるのが夢です。また、中国より日本の看護師のレベルは高いと感じています。ここで勉強していずれは中国に戻って、中国の看護レベルを高めていくことが将来の大きな夢です。

現在働いている中国人看護師の皆さんから、やる気に溢れるコメントをもらい、大変嬉しく思っています。現在は、プリセプター（実地指導者）の指導の元に業務を行い、勤務時間内に勉強時間を持って不明点を説明したりするなど、病院としてもフォローをしっかりと行なっています。健育会グループとしても、看護部の定例会議の際に各メンバーの国家試験対策や生活状況、育成状況などを共有して確認し合うなど、バックアップ体制を整えています。また、先日行われた伊豆地区のマリンスポーツクラブには、両病院のメンバーが参加し楽しんでくれました。皆さん明るく一生懸命で、患者さんからの評判もとても良いとの報告を受けており、私も安心しております。



先のコメントの中にもあったように、中国での看護師の仕事は医療処置が中心で、清拭などのケアは家族が行うことが多いので、その違いに戸惑いもあるようです。患者さんやご家族との丁寧な関わりをもつ日本の看護の良さを感じながら、生活ケアも重要な看護の役割とする日本の看護師の仕事を少しずつ学んでいってほしいと思います。



また現在、3名の中国人メンバーが「老健けやき」や「老健ひなた」でアルバイトをしながら、2018年3月の看護師国家資格合格にむけて猛勉強中です。晴れて合格した際には、来年の4月から健育会グループの病院で働くことになります。

このような中国人看護師プロジェクトやEPAで、医療や看護、介護を通じて、健育会グループが日本と外国の橋渡し役としての役割を担うことができることは嬉しいことです。これからの中国人看護師の皆さんの活躍に期待するとともに、これからも引き続き海外からの医療従事者の受け入れに積極的に取り組んでいきたいと考えています。